

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 株式会社NFKホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6494 URL <http://www.nfk-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 悦章  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 神戸 英昭 TEL 03(6419)7197  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,369	△2.5	28	△26.5	21	△73.0	7	△84.3
2022年3月期第3四半期	1,404	△20.7	38	△72.9	78	△51.2	46	△64.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1百万円 (△94.8%) 2022年3月期第3四半期 33百万円 (△76.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	0.17	—
2022年3月期第3四半期	1.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,034	4,214	83.7
2022年3月期	4,584	3,704	80.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 4,214百万円 2022年3月期 3,704百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	18.2	100	12.3	100	△33.3	90	△29.6	2.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 - 社 (社名) 除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	44,051,274株	2022年3月期	37,913,342株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	419株	2022年3月期	419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	44,050,855株	2022年3月期3Q	37,912,923株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年12月31日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大がみられたものの、まん延防止等重点措置等の行動制限が取られなかったことから、厳しい状況ながらも経済活動の正常化に向けた動きが見られました。しかしながら、中国の一部都市でのロックダウンの影響、ウクライナ危機に伴う原油価格の高騰や物価の上昇、世界的な金融引き締め等を背景とする急激な円安の進行や長期化している半導体の供給不足等、先行きが不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループでは2020年4月に策定した「新中期経営計画」に基づき、2022年度までの3年間を2023年度に向けた成長基盤確立のための期間と位置づけ、「事業基盤の強化」、「成長戦略を支える強固な経営基盤の構築」、「環境・社会・ガバナンスを重視した経営」の3つの経営基本方針を掲げて全社を挙げて取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、前期に続き海外案件やメンテナンス等が厳しい状況で推移したことなどから、売上高13億6千9百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。また、利益面につきましては、工業炉部門において追加原価が発生したことなどから、営業利益2千8百万円（前年同四半期比26.5%減）、経常利益2千1百万円（前年同四半期比73.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7百万円（前年同四半期比84.3%減）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①工業炉燃焼装置関連

工業炉燃焼装置関連事業につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は13億6千9百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。また、利益面におきましては、営業損失5千3百万円（前年同四半期は営業損失4千2百万円）となりました。

#### ②その他

その他の事業につきましては、子会社からの不動産賃貸収入、経営指導料等が収益の中心となっております。当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高は2億8百万円（前年同四半期比2.5%増）、営業利益は1億9千2百万円（前年同四半期とほぼ同額）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて9.8%増加し、50億3千4百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.6%減少し、22億3千2百万円となりました。主な増減の内訳としては現金及び預金が5千5百万円の減少となったこと、受取手形、売掛金及び契約資産が4千8百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて22.2%増加し、28億2百万円となりました。主な増減の内訳としては株式会社トリプルワンの株式取得により投資有価証券が5億1千9百万円の増加となったことなどによります。

#### （負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて6.8%減少し、8億1千9百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて37.0%増加し、4億4千8百万円となりました。主な増減の内訳としては1年内返済予定の長期借入金が2億1百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて32.8%減少し、3億7千1百万円となりました。主な内訳としては長期借入金2億1百万円減少したことなどによります。

#### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて13.8%増加し、42億1千4百万円となりました。これは第三者割当増資等により資本剰余金が5億3千4百万円増加したこと、また、親会社株主に帰属する四半期純利益7百万円を計上したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国経済の先行きにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大については落ち着きを見せる一方で、長期化する半導体の供給不足や部品供給の滞りなど世界的なサプライチェーンの混乱による工場の操業縮小や停止、原油・原材料価格の上昇によるコスト増に加え、ウクライナ情勢の深刻化や急激な円安の進行がみられるなど、国内外の経済は不透明感が益々高まる状況となっております。このような状況の中、当社グループでは2020年4月に策定した「新中期経営計画」に基づき、「事業基盤の強化」、「成長戦略を支える強固な経営基盤の構築」、「環境・社会・ガバナンスを重視した経営」の3つの経営基本方針を掲げて全社を挙げて取り組み、年度計画の実現に向け全力で取り組んでまいります。以上を踏まえ、2023年3月期の業績予想につきましては、売上高は23億円、営業利益は1億円、経常利益は1億円、親会社株主に帰属する当期純利益は9千万円を見込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,420,739	1,365,088
受取手形、売掛金及び契約資産	600,621	552,470
仕掛品	44,720	97,970
原材料	185,872	171,993
その他	38,738	44,719
流動資産合計	2,290,693	2,232,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	168,227	159,016
機械装置及び運搬具（純額）	19,166	16,068
土地	768,883	768,883
その他（純額）	16,226	20,845
有形固定資産合計	972,503	964,814
無形固定資産		
ソフトウェア	5,076	2,892
無形固定資産合計	5,076	2,892
投資その他の資産		
投資有価証券	1,054,059	1,573,891
長期貸付金	249,000	249,000
破産更生債権等	60,137	59,687
その他	12,791	11,443
貸倒引当金	△60,137	△59,687
投資その他の資産合計	1,315,851	1,834,335
固定資産合計	2,293,431	2,802,041
資産合計	4,584,124	5,034,283

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	220,817	137,150
短期借入金	15,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	—	201,908
未払法人税等	2,884	4,971
賞与引当金	—	14,571
完成工事補償引当金	11,360	10,416
その他	77,406	59,617
流動負債合計	327,468	448,635
固定負債		
長期借入金	240,000	38,092
再評価に係る繰延税金負債	196,601	222,454
退職給付に係る負債	97,343	92,221
その他	18,233	18,532
固定負債合計	552,178	371,300
負債合計	879,646	819,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,807,508	3,341,508
利益剰余金	346,655	353,974
自己株式	△210	△210
株主資本合計	3,253,953	3,795,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,008	△1,587
土地再評価差額金	446,516	420,663
その他の包括利益累計額合計	450,524	419,076
純資産合計	3,704,477	4,214,347
負債純資産合計	4,584,124	5,034,283

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	1,404,104	1,369,057
売上原価	999,133	994,218
売上総利益	404,971	374,839
販売費及び一般管理費	366,195	346,353
営業利益	38,776	28,485
営業外収益		
受取利息及び配当金	612	2,590
持分法による投資利益	1,608	—
為替差益	298	1,699
貸倒引当金戻入額	450	450
助成金収入	10,125	—
賞与引当金戻入額	19,296	—
その他	7,895	3,354
営業外収益合計	40,286	8,094
営業外費用		
支払利息	937	890
持分法による投資損失	—	13,968
その他	—	635
営業外費用合計	937	15,495
経常利益	78,125	21,085
特別損失		
事務所移転費用	14,872	2,687
訴訟和解金	—	6,000
特別損失合計	14,872	8,687
税金等調整前四半期純利益	63,252	12,398
法人税、住民税及び事業税	16,779	5,079
法人税等合計	16,779	5,079
四半期純利益	46,473	7,318
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,473	7,318



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	46,473	7,318
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△13,275	△1,344
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△4,250
その他の包括利益合計	△13,275	△5,595
四半期包括利益	33,197	1,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,197	1,723
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	工業炉燃焼装置 関連	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,403,204	900	1,404,104	—	1,404,104
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	202,500	202,500	△202,500	—
計	1,403,204	203,400	1,606,604	△202,500	1,404,104
セグメント利益	△42,998	192,386	149,387	△110,611	38,776

(注) 1. セグメント利益の調整額△110,611千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	工業炉燃焼装置 関連	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,369,057	—	1,369,057	—	1,369,057
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	208,500	208,500	△208,500	—
計	1,369,057	208,500	1,577,557	△208,500	1,369,057
セグメント利益	△53,173	192,902	139,728	△111,242	28,485

(注) 1. セグメント利益の調整額△111,242千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。